



*Tower, GUPD,
Request inbound for landing!*

「こちらは群馬大学 Post Doctor、着陸(入社)許可をお願いします。」



連絡先

群馬大学 研究・産学連携戦略推進機構 高度人材育成センター

コーディネーター 米本 正
 コーディネーター 平田 晋作
 事務担当 久保田 英子

電話:0277-30-1179,1180 fax:0277-30-1104

E-mail:pd-int@jimu.gunma-u.ac.jp

URL:<http://www.tech.gunma-u.ac.jp/PDI/index.html>



ポストドクターキャリア開発は 飛躍のパスポート。



文部科学省では、博士号取得者の増加に合わせて産業界との協議を経て、様々な支援活動を始められています。ポストドクター・キャリア開発事業もその一つで、産業界の受入の拡大とともに、博士課程後期学生やポストドクターに対する就職支援活動を、平成20年度から開始し5年を経過し、33の大学や研究機関が参加してきています。

群馬大学では、平成23年度に本事業への参加採択を頂き、文部科学省の支援を戴きながら、教育カリキュラムの改編による産業界で活躍できる人材の育成をはじめ、教育者の意識改革や就職支援体制を整備し、産業界の将来を担う高度な若手人材の才能が飛翔できるように取り組んでいます。

キャリア開発講演会
グローバル人財育
理
事
日
立
製
作
所
グ
ロ
ー
バ
ル
人
財
部
副
本
部
長



Roger !!

Good Luck !!

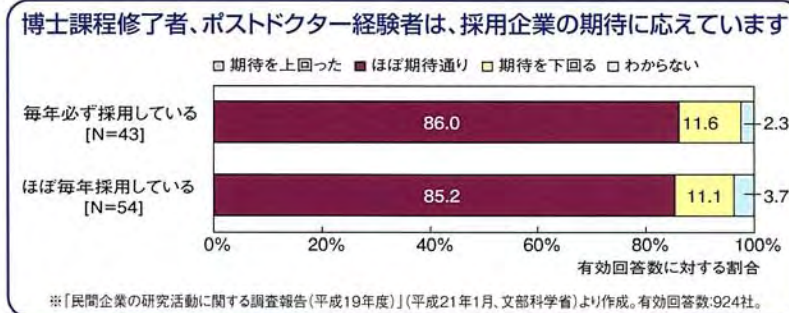


様々な情報を駆使して、目的地まで確実に誘導します。

実践的人材育成が創る最良のクルージング・パートナー

高い知識と技術を備えた人材を、将来の企業活動の原動力として育成することは、あらゆる産業界にとって必要不可欠です。ポストドクター・キャリア開発とは、特定の学問分野の専門能力だけでなく、産業界の多様なニーズを踏まえた発想や国際的な広い視野を身につけた人材を育成し、多様なキャリアパスの形成を支援するものです。

下記のデータが示すように、このシステムを採用した企業の約9割は「ほぼ期待通り」と答えています。企業活動の未来に明るい希望を見だしにくくなった今こそ、ポストドクター・キャリア開発支援システムは、時代のニーズとシーズを的確に見据えた企業活動を支える人材確保のために有効なシステムであると考えています。



ために有効なシステムであると考えています。

日本のみならず、海外での産業活動の将来を担う若い才能と手を取り合い、最良のパートナーシップの創造に全力でご支援いたします。

入念なプリフライトチェックで、最良のプラン構築を支援します。

群馬大学研究・産学連携戦略推進機構は、高度な専門性と広い視野を持ち合わせ、社会に貢献できる人材育成を行うことを目的として、ポストドクターを派遣します。

もちろんインターンシップ実施に当たり、受入企業様との入念な事前協議を経て、所定の誓約書等の提出と、協定の締結をいたします。

●実施概要

- 1 インターンシップ期間は3ヶ月以上最長10か月
- 2 派遣するポストドクターは、企業で働く意欲のある人材を群馬大学が当該事業の目的のために雇用した者です。(国籍・性別は問いません。毎年6名程度を予定しています。)
- 3 その間、下記の費用は群馬大学が負担します。
 - 給与 ○社会保障費 ○交通費
 - 宿泊・下宿費 ○損害保険

●事前研修カリキュラム

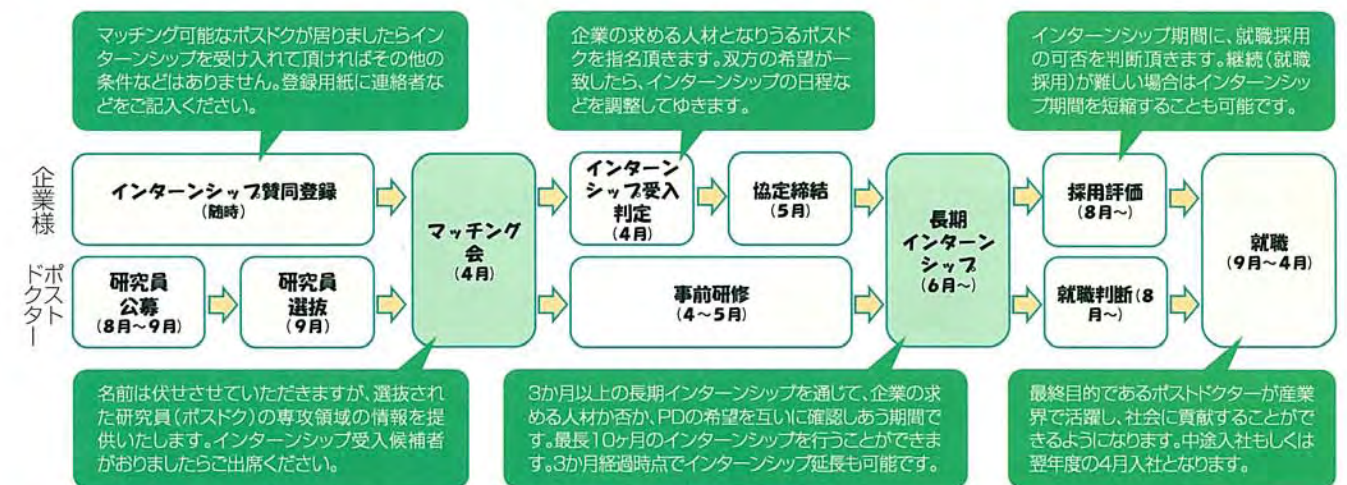
- 1 技術経営論(2単位)
研究開発を中心とした企業活動の統合的な理解と具体的な企業事例のなかでの問題解決能力の向上を図ります。
- 2 事業計画作成実習(2単位)
企業活動での企画立案能力の涵養を図ります。
- 3 自己表現スキル(1単位)
コミュニケーションスキルの向上を図ります。

フライトプログラム

博士人材の活用をお願いいたします。

優れた論理思考を持った人材は、尖った専門領域はもちろん、それ以外にも必ずやその力を発揮致します。企業が新たな領域への進出をお考えの場合や、職場の活性化、大学との共同研究などをお考えの場合などに期待ができます。

コーディネーターが下記のステップを段取りしてまいりますので、賛同登録をお願いいたします。



●ポストドクター採用面接

●インターンシップ成果発表

●就職後の活躍

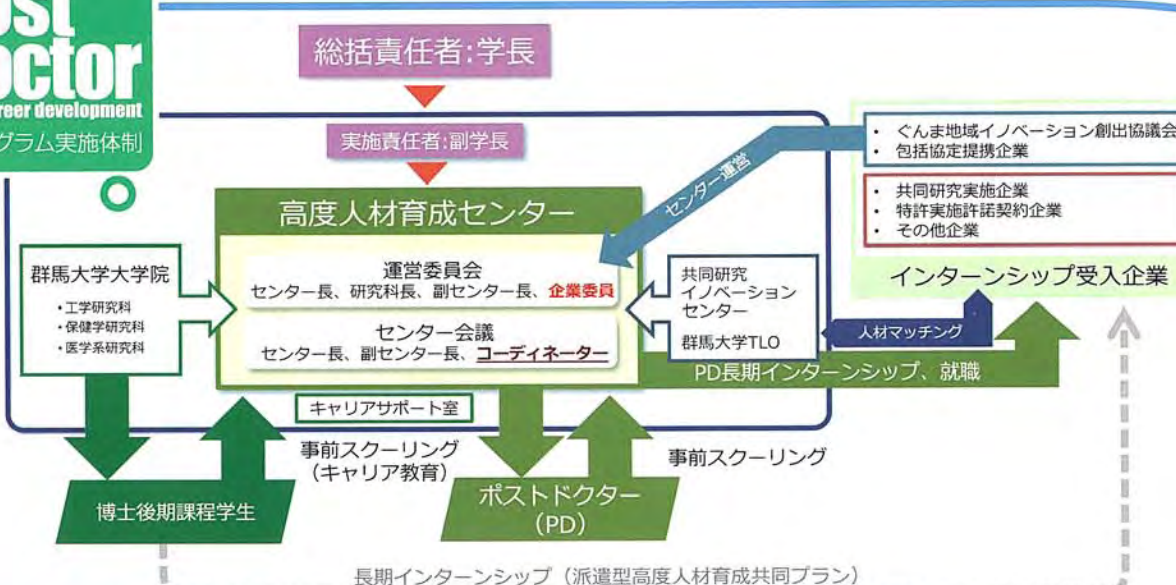


あらゆる環境に、柔軟で確かな運用プランで対応します。

「ポストドクター・キャリア開発システム」レポート

ポストドクQ&A

- Q1: インターンシップにより、会社の機密や技術情報が外部に漏れることはありませんか?
 A1: インターンシップ研修者は群馬大学の非常勤職員の身分で研修しますので「本学職員の立場で知れた機密をほかに漏らしてはならない」という、職務規定の拘束を受けます。さらに実習前、受入企業様に秘密保持誓約書を提出させていただきます。
- Q2: インターンシップ研修生に受入企業が給与などを支給する必要はありますか?
 A2: 給与や交通費などは群馬大学が負担しますので受入企業様のご負担は必要ありません。
- Q3: 研修中に事故などが発生した場合、どのような保証がありますか?
 A3: 群馬大学側で保険に加入しますので受入企業様のご負担は必要ありません。
- Q4: 研修中に、研修生が携わった内容で特許出願する場合、群馬大学の持ち分割合はどうか?
 A4: インターンシップ研修中の知的財産は受入企業様が100%の権利を有します。
- Q5: 従来からあるインターンシップと違うのですか?
 A5: 従来の目的は社会体験の教育にあります。本プログラムでは直接産業界へ輩出することを目的としています。



フライトレポート

受入企業様の声

新しい風を起こしたインターンシップ



三桜工業株式会社
グローバル開発本部
研究開発部 副部長
後藤 直哉 さん

今回のインターンシップは、インターン生の経験を増やしただけでなく、社内にも良い刺激を与える結果にもなりました。日頃、目先の業務に気を取られている人が多い職場に、じっくりと本質を追究する姿勢を持ったインターン生が入ったことで、ずいぶん雰囲気が変わりました。三桜工業にとって「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の制度利用は初めてのことでしたが、社内に新しい風を吹かせるために思い切って4人を同時に受け入れました。少し無理をしたのですが、結果的にこれは正解だったと思います。

インターン生は固定観念が無く、疑問点を素直に報告したり質問したりするので、それをきっかけにして問題解決の糸口を見つけたテーマもありました。自動車部品の耐食性評価、耐久性評価、材料選定、品質検査方法等ははやや特殊な知識を必要とする領域のため、インターン生の経験や知識を直接生かすことはできませんでしたが、インターンシップの終わる3ヶ月終了時には研究成果をまとめて発表するところまで達成しました。論理的思考力、目標期限内に纏め上げる力、人に伝える力が高ければ、多少専門分野が異なっても研究開発を推進できることを証明したと言えます。

今回、インターン生を受け入れることで、社内活性化と研究開発推進ができました。また、インターン生の皆様は、インターンシップ期間中の経験を生かし、入社後においても活躍されることを期待します。

平成24年度インターン生の声

ポストドクター・キャリア開発事業との出会い



社会環境デザイン工学専攻
岡田 崇

◆自分を試してみたい
私はアカデミックの道に就職することを考えていましたが、あることをきっかけに民間企業への就職に興味を持ちました。それは博士後期課程時に産学連携の研究テーマに携わることになり、企業の研究会に数多く参加したことです。そこで仕事のやりがいと面白さを学びました。さらに、企業の社会貢献に対する姿勢や意識の高さを実感したことで、企業で働きたいという思いがより一層強くなりました。

民間企業への就職を志望する中で、このポストドクター・キャリア開発事業を知りました。この事業に参加した理由は、入社前にインターンシップ生として3ヶ月以上企業で働く事ができるため、自分のこれまでの経験や能力をその企業で生かせるかどうか試せるチャンスがあったからです。

Good Landing!!

